

申9号 2018年度

年末手当第2回交渉を行う！(その1)

単体は営業収益・運輸収入は7期連続の増収！第2四半期決算は連結・単体とも過去最高！
安全・安定輸送の確保は組合員の努力の結果であり
好調な収入を支えていることを労使で認識一致！

組合

- ・ 営業収益が堅調なのは組合員の努力があるからだ！
- ・ 配当性向が上期よりも伸びているのは、ステークホルダーに対して株主の配当が増えているからだ。社員に対しての還元も行うべきだ！
- ・ 今年は「変革2027」のスタートの年。職場も注目している。モチベーションを向上するためにも満額回答するべきだ！
- ・ 職場は休日勤務で回っているのが現実。努力に報いるべきだ！
- ・ 特に異常時には自発的に行動して安全・安定輸送を確保している。その結果として、好調な運輸収入がある！
- ・ 入社6年目以降の組合員の不満な声に応えるべく、プラス5万円の要求を実現するべきだ！
- ・ 酷暑や災害等あるが組合員が施策を担ってきたからこそその増収だ！

会社

- ・ 安全・安定輸送の確保、サービス向上の取り組みに感謝している。
- ・ 5年連続でベースアップ、管理手当・扶養手当の見直し、エルダー制度の見直しにより人件費が増加している。
- ・ 安定的な株主になってもらうために、会社の価値・魅力を高める。ステークホルダーは地域の皆さまや社員に対しても当然だ。
- ・ 労務単価の上昇やグループの労働条件向上のため委託費が上がっている。
- ・ 手当の支給は大局的な視点で考える。JRは高い公共性がある。月数や額面で見ても十分高い水準であり、突出感の無いようにしたい。
- ・ 費用増で減益もあるが必要なものとして投資している。慎重に判断する。
- ・ 労使双方で大事な議論が出来た。受け止め、早急に回答できるように努力する。



職場で奮闘する組合員の努力に
会社は満額回答で応えるべきだ！！